

試合番号 : 216		試合会場 : エレコム・ロジテックアリーナ (伊那市民体育館)				観客数 : 530			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:06		試合時間 : 02:06		主審 : 澤 達大			
副審 : 高橋 宏明		通算		3勝 19敗		通算			
ポイント : 12		25		第1セット		27			
<b>VC長野トライデント</b> ホームでの2連敗となり、応援してくれたファン、サポーターの皆様、各関係者の皆様本当に申し訳なく感じております。今日も相手の攻撃に各対峙することができませんでした。来週もホームでの戦いになります。しっかり準備をして挑みたいと思います。今日は沢山の応援ありがとうございました。		32		第2セット		30			
		17		第3セット		25			
		17		第4セット		25			
				第5セット					
<b>大分三好ヴァイセアドラー</b> 本日の試合は、昨日のゲームからVC長野に対策されて、ビハインドとなるゲーム展開となりましたが、選手は粘り強く集中を切らすことなく勝利をもぎ取ってくれました。これからは一つでも順位を上げるためにしっかりと準備をして戦っていききたいと思います。本日も沢山の応援ありがとうございました。		通算		2勝 20敗		通算			
		ポイント : 9							
要約レポート		ホームでの連敗は避けたいVC長野トライデントと連勝して勢いに乗りたいたい大分三好ヴァイセアドラーとの対戦。第1セット、VC長野は戸倉のブロックでリードするが、大分三好は山田の連続サービスエースで逆転する。VC長野も池田(幸)、中村のブロックで再度逆転しリードを奪う。大分三好はリリーフサーバー米田のサーブから追いつき、最後は山田のサービスエースでデュースになったこのセットを奪った。第2セット、序盤はVC長野がややリードして試合を進めるが、大分三好もストローク、バグナスらにボールを集め、山田のサービスエースもありデュースになる。VC長野はリヴァン、大分三好はストロークにボールを集め熱戦は続くが、最後はリヴァンのサービスエースでVC長野がセットを奪い返した。第3セット、大分三好は山田のスパイクでリードを奪う。両チームともボールを散らし得点を奪い合うが、大分三好はバグナスの連続サービスエースなどで得点を重ね、このセットを奪った。第4セット、ストロークのスパイクやサービスエースで大分三好が抜け出す。リヴァンにボールを集め挽回をはかるVC長野に対し、大分三好はバグナス、大西の得点で点差を広げる。最後まで全員で攻撃を仕掛けた大分三好がセットを奪い連勝を飾った。							
試合番号 : 217		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 1,050			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:37		試合時間 : 01:37		主審 : 服部 篤史			
副審 : 村中 伸		通算		17勝 5敗		通算			
ポイント : 51		25		第1セット		22			
<b>ウルフドッグス名古屋</b> 今日の試合では昨日と違った試合となった為大変激しい試合となりましたが、これまでの試合のように選手とスタッフで助け合い最後まで戦い抜くことができたと思います。我々ウルフドッグス名古屋はこれからも成長し続けていきますので、共に戦いましょう。今週こそ豊田合成記念体育館「エントリオ」でホームゲームを開催できた事を大変嬉しく思いますし、会場やインターネットそしてメディアを通して応援頂いた皆さま本当にありがとうございました。地球上の全ての人の安心・安全な生活を折っております。Best Day Ever!!		25		第2セット		23			
		25		第3セット		23			
				第4セット					
				第5セット					
<b>JTサンダーズ広島</b> 本日もたくさんのご声援ありがとうございました。ゲーム内容は良かったと思いますが勝負所を取りきることができるかどうか勝負を分けたと思います。修正できる所を確認して次回に臨みたいと思います。		3		0		0			
要約レポート		前日の惜敗で連勝が止まったウルフドッグス名古屋がJTサンダーズ広島をホームに迎えての2日目。第1セット、WD名古屋はライト側からクレク、レフト側から高梨、さらにクイックを繰り交ぜ、幅のある攻撃を繰り広げる。対するJT広島も、小野寺のクイック、エドガーの強打で応戦。終盤までサイドアウトを繰り返す接戦になるが、WD名古屋が攻撃、守備共に僅差で上回り、セットをものにした。第2セット、立ち上がりは両チームとも得点を取り合うが、5-5からJT広島が連続得点でリードし、5-8とする。JT広島がリードしたまま終盤まで進むが、19-20から、WD名古屋はクレクのブロックとアタックの連続得点で逆転。互いに好プレーが連続し、長いラリーに会場が盛り上がる。このラリーを制したWD名古屋が、このセットも僅差で奪取した。第3セット、WD名古屋は、近とクレクの連続ブロックから始まり、高梨のアタックやサーブで得点し、JT広島を突き放す。WD名古屋はリベロ小川の体を張ったレシーブやクレクのファインプレーでボールを繋ぎ得点に結びつけるなど、攻守がかみ合い、セットカウント3-0で前日の雪辱を果たした。JT広島もエドガーの活躍で追いつくところまで粘ったが、あと一歩及ばなかった。							
試合番号 : 218		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 986			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:16		試合時間 : 01:16		主審 : 山本 晋五			
副審 : 本間 明		通算		16勝 6敗		通算			
ポイント : 47		25		第1セット		18			
<b>パナソニックパンサーズ</b> 昨日より試合の入り方が異なり、アグレッシブにプレーし、戦術面も良かったと思います。兒玉選手もアタックで活躍するなど、全選手自信のあるプレーで完璧に近い試合だった。今日勝ったことは非常に大事でした。来週も激しい戦いになるので、応援よろしくお願致します。		25		第2セット		14			
		25		第3セット		20			
				第4セット					
				第5セット					
<b>東レアローズ</b> 今日の試合はパナソニックの効果的なサーブに崩されてしまい、チームとしてリズムが作れませんでした。ここまでサーブレシーブが武器になっていたのもう一度しっかり立て直して来週の試合に臨みたいと思います。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。		3		0		0			
要約レポート		ホーム枚方でこれ以上負けられないパナソニックパンサーズと連勝を伸ばしたい東レアローズとの一戦。第1セット、サイドアウトを取り合う。東レの李がサーブで崩して連続得点しリードするも、パナソニック・クビアクのアタックやブロックが決まり逆転に成功。その後も深津のトス回しが冴え、パナソニックが先取する。第2セット、パナソニックがサーブで東レを崩し、連続得点でリードすると、その後もクビアクが躍動し点差を広げる。東レは選手交代で流れを変えようとするも25-14の大差でパナソニックがセットを連取する。第3セット、パナソニック清水のサービスエースなどで序盤からリードし、効果的なサーブで東レを苦しめる。東レもバダルを中心に攻撃を展開し点差を詰める。中盤以降、ファンの声援を後押しに躍動するパナソニックの勢いは増し、最後は清水のスパイクでセットカウント3-0のストレートで勝利し、連敗を3で止めた。							
試合番号 : 219		試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良 (奈良県立橿原公苑第1体育館)				観客数 : 769			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:55		試合時間 : 01:55		主審 : グレグ ルーオー			
副審 : 城 智人		通算		14勝 8敗		通算			
ポイント : 39		22		第1セット		25			
<b>ジェイテクトSTINGS</b> 堺ブレイザーズの勢いに押される場面も多々ありましたが、チーム全員で苦しい時間帯を乗り越え勝利することができました。また、会場まで来ていただいた皆様の応援が我々の大きな力となりました。本当に感謝いたします。また来週の試合に向けてチーム力を更上げていけるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいです。奈良大会の2日間、たくさんのご声援ありがとうございました。		25		第2セット		18			
		25		第3セット		17			
		25		第4セット		20			
				第5セット					
<b>堺ブレイザーズ</b> 昨日のゲームから修正すべき点を改善し臨んだこの試合、序盤からリズムを作り、第1セットを取ることができました。しかし西田選手の素晴らしいサーブにゲームを動かされてしまいました。厳しいゲームが続きますが、前を見て次を見据えて戦っていきます。本日も熱い応援ありがとうございました。来週も応援よろしくお願致します。		3		1		1			
要約レポート		第1セットは一進一退の試合展開から、中盤に堺ブレイザーズはジョンのアタックやブロックで連続得点を重ね、ジェイテクトSTINGSはその差を縮めることができず堺が先取した。第2セットは序盤からジェイテクトの速攻、ブロックが効果的に決まり始める。中盤には西田のスパイクやブロックからの連続得点で勢いに乗り、ジェイテクトがセットを奪取した。第3セット、堺はセッターの関田を中心に樋口、松本のアタックで追いつけるが、ジェイテクトは西田の連続サービスエースや、途中起用の那の活躍でセットを連取した。第4セットもジェイテクトは藤、福山のブロックが冴え、那の強烈なアタックなどにより流れに乗り、このセットも取り、ホームゲームを連勝で飾った。							

試合番号 : 220		試合会場 : サントリー箕面トレーニングセンター体育館				観客数 : 0							
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:23		試合時間 : 02:23		主審 : 山本 和良		副審 : 中西 幸治					
サントリーサンバース			通算		18 勝 2 敗		FC東京			通算		6 勝 15 敗	
			ポイント :		50					ポイント :		22	
監督コメント	今日はゲームの入り方が良くなかったと思います。油断や慢心などは無かったです。FC東京の粘り強いディフェンスに学ぶことも多かった。更なる成長を為すに今日の試合のことを忘れないようにしたいと思います。												
	その中で、チーム全体として勝利に向けて控えの選手が良い仕事をしてくれたと思います。FC東京の粘り強いディフェンスに学ぶことも多かった。更なる成長を為すに今日の試合のことを忘れないようにしたいと思います。												
	今後、厳しい試合が続くと思いますが、1戦1戦全力で戦いながら進んでいきたいです。												
	本日もホームゲーム開催にあたり、サポートいただいた皆様、ご声援いただいたファンの皆様ありがとうございました。												
	引き続きサンバースをよろしく願います。												
要約レポート	昨日の試合結果で1位になったサントリーサンバースとFC東京の対戦はフルセットの末、サントリーが勝利した。第1セット、FC東京はスタートから相手チームのミスなどから6点をリードすると、その後も長友の切れのあるスパイクで、その点差を維持し、このセットを先取した。第2セットは、序盤に大宅のブロックポイントでリードした後は、ムセルスキーのサービスエース3連発から相手を突き放してセットカウントを1-1とした。第3セットは、セット開始から一進一退の攻防が続いてデュースとなり、最後はサントリー藤中のブロックが決まりセットを取った。第4セット、後のないFC東京は中盤に佐藤、長友のバックアタックで流れを取り戻し、終盤に追いつかれてデュースまで持ち込まれるが、長友のバックアタックがサントリーのレシーブを弾いて、このセットを奪いセットカウントを2-2とした。最終セット、サントリーは加藤に代えて塩田を投入し、ムードを変えると柳田の連続サービスエースもあり、FC東京に隙を与えず、このセットを取って勝利し、10連勝とした。												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
			通算		- 勝 - 敗					通算		- 勝 - 敗	
			ポイント :		-					ポイント :		-	
監督コメント	第1セット												
	第2セット												
	第3セット												
	第4セット												
	第5セット												
要約レポート													

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
			通算		- 勝 - 敗					通算		- 勝 - 敗	
			ポイント :		-					ポイント :		-	
監督コメント	第1セット												
	第2セット												
	第3セット												
	第4セット												
	第5セット												
要約レポート													

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
			通算		- 勝 - 敗					通算		- 勝 - 敗	
			ポイント :		-					ポイント :		-	
監督コメント	第1セット												
	第2セット												
	第3セット												
	第4セット												
	第5セット												
要約レポート													